

修論・卒論のための 論文の書き始め方

司会・報告
法研 M2

達野 俊輔
中島 崇裕

主催：IR 院生勉強会

実施要領

日程 | 2025年8月13日（水）

時間 | 10:30 - 12:00

場所 | オンライン（事前登録が必要です）

構成

第1部 研究計画書の書き方

第2部 先行研究の探し方、まとめ方

IR 院生勉強会って？

国際関係論を研究対象とする一橋大学の院生が中心となり、研究の相談や交流を行う緩い集まりです。授業期間は週に1回、自主ゼミを開講しています。



修論・卒論のための 論文の書き始め方



研究計画書の書き方

研究をどう考え始めるか、どう提案するか

達野 俊輔

研究計画書とはなにか

研究計画書は、研究の基本情報が書かれた提案書

- 研究を始めるときには、まず研究計画書を執筆する
 - 研究論文だけでなく、科研費申請や大学院入試などでも書く
 - 大学院に入ると、最初の半年～1年は研究計画書の執筆にあてる
- 他人に研究内容を相談する時や報告の際にも提示するとよい
 - 研究の基本的な情報（RQ や研究の方法など）が記載されており、簡潔に理解できる

研究計画書とはなにか

研究計画書の目的は、研究を売り込むこと

- 研究計画書のメインは、研究プラン（予定）ではない
 - 研究のスケジュールや見通し、研究者のメモではない!
- 研究計画書 (Research Proposal) は他者に研究を売り込むために書く
 - 自身の研究がいかに面白い、現実的に遂行可能であることを紹介する
- 自身の研究の要約になるので、最終的には論文の序章（「はじめに」）や Abstract にする
 - もちろん序章は、結果を踏まえて改訂したもの

研究計画書とはなにか

本題に入る前に

- 学部・大学院ともに、研究の書き方に関する授業が開講されている
 - 法学部「国際関係研究の方法」、法研/IPP「アカデミックライティング」
- 今回の内容は、大林ゼミである程度テンプレート化されている内容
 - ゼミによってはスタイルに特別な指示がある場合がある
 - 申請書類、入試願書などでは様式が異なる場合がある

研究テーマの見つけ方

まずはフィールド（分野）を決めよう

- 学部・大学院ともに、研究の書き方に関する授業が開講されている
 - 法学部「国際関係研究の方法」、法研/IPP「アカデミックライティング」
- 今回の内容は、大林ゼミである程度テンプレート化されている内容
 - ゼミによってはスタイルに特別な指示がある場合がある
 - 申請書類、入試願書などでは様式が異なる場合がある

研究計画書に書いてあること

基本的な要素

- 検証型研究を構成する基本的な要素は、以下の7点
 1. 素敵なタイトル
 2. 研究の問い（RQ）
 3. 研究の背景
 4. 研究の意義
 5. 理論と仮説
 6. 研究の方法
 7. 参考文献リスト

研究計画書に書いてあること

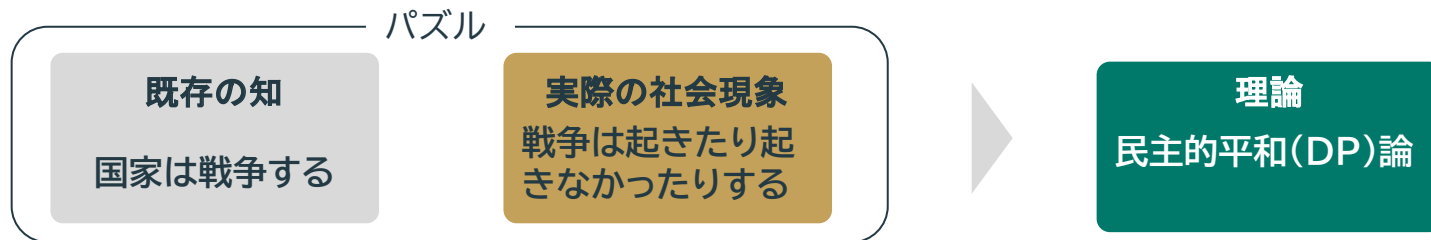
1. 素敵なタイトル

- 研究計画書のタイトルは「研究計画書」とするべきでない
 - タイトルから研究の売り込みは始まっている
- 研究全体の内容や主張が伝わるように
 - 提唱する理論の名称、事例名、独立変数や従属変数を含めるとよい
- 必要があれば副題を付すのも効果的
 - 主題
 - ーここに副題を書きますー

研究計画書に書いてあること

2. 研究の問い (Research Question)

- 研究の最も重要な動機として、パズルがある
 - パズル | 既存の知と社会現象との間に存在する矛盾



- 研究の問いとは、その研究が応えようとしている核心的な問いのこと
 - e.g. なぜパズルが生じる？ どのように生じている？ 社会現象の原因はなに？

研究計画書に書いてあること

2. 研究の問い (Research Question)

- 研究の問いの2つのスタイル | Why questions と How questions
 - Why questions は独立変数と従属変数の因果関係を解明する、理論を構築する
 - How questions は社会現象を詳細に記述する、メカニズムの確からしさを検証する

➡ 卒論・修論には、理論構築・理論検証を行う研究が適している
- ゼミによっては、How questions や政策提言型論文を認めないこともあるので注意
 - ゼミや勉強会での報告で、研究の問いを明らかにすることは重要
 - 計画書や報告資料でも、必ず冒頭で研究の問いを提示する

研究計画書に書いてあること

4. 研究の意義

- 研究の意義とは、本研究が学术界や社会に与える貢献のこと
 - 大きく「学術的意義」と「政策的意義（社会的意義）」に分けられる
- 以下のポイントを意識するとよい
 - なぜこの問いに答える必要があるのか
 - これまでの先行研究 / 社会実行では不十分な点
 - あなたの研究がもつ新しさ（新規性）

研究計画書に書いてあること

5. 理論と仮説

- 理論とはなにか
 - 理論とは、概念の定義や類型、対象に関する仮定、原因と結果に関する因果関係やそのメカニズム、効果の大きさ.....などの集合のこと
- 研究は、その時点で最も説明力が高く包括的な理論を提示する
 - 科学の究極的な目的の一つは、あらゆる事象を一般的な理論で説明すること
 - これまでの理論のうち妥当なものを決定して提示する、これまでの理論を改良した理論を提示する、1から考えた新しい理論を提示する

研究計画書に書いてあること

5. 理論と仮説

- 理論の提示では、以下の情報を書く
 1. 提示する理論の説明
 2. その理論が妥当だと考える理由
 3. それ以外の理論では不十分な理由
- そのために先行研究を適切に紹介する
 - 本当に重要なのは、自分の研究を紹介することなのを忘れずに！
 - 親切に他人の研究を紹介してあげなくてよい

研究計画書に書いてあること

5. 理論と仮説

- 理論から当然導き出される仮説を提示する
 - 仮説 | 理論に基づく現実世界の予測。
- 仮説は、独立変数と従属変数の関係を端的に表したもの
 - 「独立変数の値が大きくなる（小さくなる）とき、従属変数の値が大きくなる（小さくなる）」
 - 基本的な型が守られているのが望ましい（ただし、表現に多少の調整があってもよい）
- 仮説を検証することで、理論の正しさを示す
 - あなたが提示し、仮説により正しさを検証した理論は、他の誰かに反証されるまでは正しいことが保証される

研究計画書に書いてあること

5. 理論と仮説

- 理論の射程及び限界も明示する
 - 理論の射程（スコープコンディション）とは、理論の説明が妥当する範囲のこと
 - 時間的、地理的範囲の限定や、仮定など、事前にわかっている場合は計画書にも書く
- 理論の一般化可能性に関する議論にもつながる

研究計画書に書いてあること

6. 研究の方法 (リサーチデザイン)

- 理論及び仮説は科学的な方法に基づいて検証される必要がある
- その方法はリサーチデザインとして、以下の要素を伴う
 1. 独立変数と従属変数の操作化の方法
 2. 検証に用いるデータの説明
 3. 具体的な方法論

研究計画書に書いてあること

7. 参考文献リスト

- 本文で引用した文献は過不足なく掲載する
 - しなかったら剽窃として、処分の対象（学位取り消し等）
- 重要なポイント
 - 参考文献は著者のアルファベット順に並べる
 - 日本語文献と英語文献は分ける
 - 脚注に完全な文献情報を記載していても、改めて参考文献リストを付する

研究計画書に書いてあること

7. 参考文献リスト

- 参考文献リストとは別に、引用はしていないが参考にした、勉強に用いた、これから読もうと思っている文献を一覧にしておくことがある
 - 参考文献とは別のリストとして付すのもよい
- あなたがこの分野についてどれだけの先行研究を確認しているかを提示することで、他者があなたに対してアドバイス・コメントしやすい

おすすめの文献

これから研究を書く人のためのガイドブック

佐渡島紗織・吉野亜矢子. (2021). [出版社のサイト](#)

タイトルのとおり、初めてアカデミックライティングをする人のために、要点が簡潔にまとめられた入門書。文章の書き方から問いの立て方、資料の集め方まで優しく説明されている。アカデミックな文章とは何かを勉強する最初の本としておすすめ。

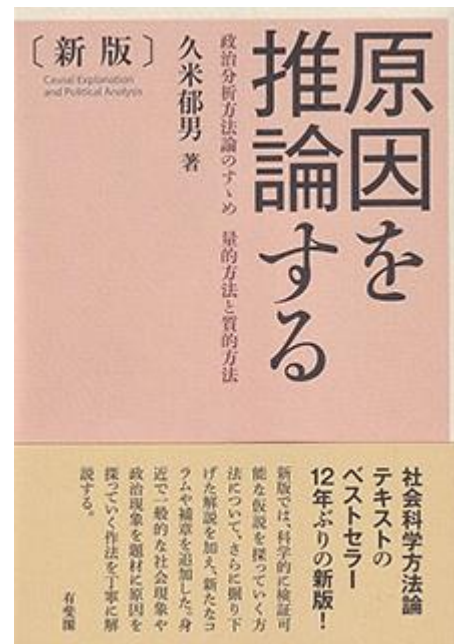


おすすめの文献

原因を推論する

久米郁男. (2025). [出版社のサイト](#)

社会科学 research の方法に関する日本語のバイブル。このページでも説明した理論とか観察、変数などの言葉についても深掘りして説明されている。若干古い印象があるが、科学的な研究とはなにかについて考える重要な材料がまとまっている。大学院生になってものを書くようになったら、必ず一度は読みたい。



おすすめの文献

政策リサーチ入門

伊藤修一郎. (2023). [出版社のサイト](#)

政策提言や評価を最終的な目的として、科学的な研究を行う方法を基礎から解説している。シンクタンクや国連・政府関連の政策立案に携わりたいと考えている人におすすめ。また、リサーチ内容をわかりやすく人に伝える方法についての説明もあり、かなり丁寧だ。



おすすめの文献

博士号のとり方

E.M.フィリップス・C.G. ジョンソン. (2025). [出版社のサイト](#)

博士号取得を目指す大学院生向けに、研究者としての指針を示している。研究の型や指導教員との付き合い方などの章は、修士課程学生にも参考になる(と同時に、博士課程への進学に悩んでいる場合にその実態を知る手がかりになるかもしれない)。

How to Get a PhD
A Handbook for Students and their Supervisors
E. M. Phillips & C. G. Johnson

博士号の とり方 [第7版]

学生と指導教員のための
実践ハンドブック

E・M・フィリップス／C・G・ジョンソン [著]
角谷快彦 [訳]

名古屋大学出版会